

事務事業の廃止・縮小についての市民説明会での主な意見

1 主要意見

【1回目：令和3年12月17日（金）】

- ①今後の懸念や課題とそれに向けた市の取組については、理解した。
- ②事務事業の廃止・縮小についての市民説明会の実施は、他市にない取組である。
- ③事務事業の廃止・縮小について、市民へあまり周知されないまま進むのが心配である。

【2回目：令和3年12月18日（土）】

- ①今後の懸念や課題とそれに向けた市の取組については、理解した。
- ②事務事業の廃止・縮小について、市民への情報提供の時期が遅い。
- ③市民意見をもっと聞くべきだ。市民が知らないまま、話が進んでいる。開かれた市政を目指していると言えない。
- ④各事務事業を「廃止・縮小する」、または、「しない」と判断したプロセスや基準、理由等について細かく説明してほしい。資料の理由欄だけでは読み取れない。別途説明会を開催してほしい。
- ⑤市民の福利の向上が目的である地方自治体が、子育てや社会教育に関する分野の事務事業を次々に削ろうとしている。日本国憲法や地方自治法に反する取組だ。
- ⑥学校施設の長寿命化等について、老朽化は急に起きないのだから、経費が掛かることは前から分かっていたはずだ。言い訳はやめてもらいたい。
- ⑦99事業の廃止・縮小のみで抜本的な見直しになるのか。

2 その他意見

【1回目：令和3年12月17日（金）】

- ①議員報酬の削減については議論しなかったのか。
- ②財政状況が厳しいから単純に事務事業を削減するのではなく、歳入増も考えるべきだ。公民館の有料化は検討していないのか。
- ③公民館を安心して利用できることは財産である。
- ④費用対効果が悪くても、実施しなければならないものもある。ただ、廃止・縮小するのではなく、代替案を考えてほしい。
- ⑤電力の無駄などについて対策を検討してほしい。省エネなど。カーボンニュートラルも課題になっている。
- ⑥市が行う説明会やパブリックコメントなどで市民が目にする資料については、いつも難しく書きすぎている。もっと簡潔にわかりやすく書いてほしい。そうすれば市民が意見を出しやすくなる。

【2回目：令和3年12月18日（土）】

- ①ちょこバスは空バスだ、廃止すべきだ。
- ②行政評価で外部評価委員を入れているが、最終的には、市が決めている。事務事業の廃止・縮小について、外部に委託し、外部の意見を聞きながら市が決めるのであれば、行政評価も外部に委託し、外部の意見を反映させるべきだ。
- ③廃止・縮小した後、しっかりと事後評価をしてほしい。自治基本条例については、導入しなかったことに対する事後評価をしているのか。
- ④事務事業の廃止・縮小だけではなく、行政デジタル化も進めるべきだ。
- ⑤公共施設については、起債を財源として建設しており、我々利用者がその後、費用負担してきた。資料には、この考え方が見られず、時間軸がない。